

編集後記

桜も終わり春本番、大型連休で楽しい時期...のはずでしたが本県では新型コロナウイルス感染者数が過去最高ペースでじりじりと増加しています。隔離外来で抗原陽性と診断する機会も増えており、クラスターを出さない事の難しさを痛感する日々です。

誌上ギャラリーには、池田先生から伊佐市の美しいすずらん園の模様をお寄せいただきました。一度父と訪れたことがあります、清涼な空気と圧倒的な緑と白く可憐な花が印象的な場所でした。

論説と話題は、臨時代議員会及び役員等選挙当選証交付式の報告と、次期会長候補者の上ノ町現会長による所信表明です。皆様ご一読ください。

学術は検診で発見された胃神経内分泌腫瘍の背景に自己免疫性胃炎が存在した1例について、いまきいれ総合病院消化器内科からのご報告です。自己免疫異常に伴う特殊型胃炎には、神経内分泌腫瘍や胃癌やその他自己免疫疾患との合併例がしばしば認められるため、検診で胃神経内分泌腫瘍を発見した時は自己免疫性胃炎合併を念頭に置いた全身検索や定期観察が必要となることを教えていただきました。

医師会病院だよりは、診療部長の山口先生から同院でのペースメーカー手技の集計に関するお話です。定期外来に加え遠隔モニタリングシステムも導入されている由、引き続き患者さんご紹介をお願い致します。

随筆・その他では、連載「切手が語る医学」で古庄先生がアルツハイマー病や薬壺をモチーフにした切手の画像をご提供くださいました。多彩な図柄が毎月楽しみです。

栗先生には、フランツ・リストからショパンやバッハといったクラシック音楽の偉大な作曲家についてご寄稿いただいています。前作の歴史的風景探訪とどこか似た流れも感じられます。リレー随筆は県立大島病院の栗林先生から趣味のキャンプをお勧めいただきました。県内県外の自然と触れ合いながら身体を動かしよく食べ焚き火の前

で仲間との繋がりを深める...楽しそうです。

区・支部だよりは、任期2年の各区長、任期1年の各支部長の先生方から頂戴しました退任と就任のご挨拶を紹介しています。コロナ禍で区や支部の集まりが殆ど無い状況下の業務は大変と存じますが、執行部と会員の先生方とを繋ぐ大事なお仕事、どうぞよろしくお願ひいたします。

各種部会だよりも件数がめっきり減っています。今号ではWebとのハイブリッド形式で開催された勤務医会研修会の模様をお伝えしました。睡眠障害の診断と治療に関するご講演をいただいたようです。

各種報告は理事会概要、委員会報告、市域糖尿病医療連携体制講習会報告、令和3年度後半期の学校保健活動に関する報告です。今年度の区長・副区長、支部長・副支部長、代議員・予備代議員一覧も掲載されています。

附属施設だよりと附属施設等利用・受診状況、職員人事異動等当会の動きも合わせてご覧ください。

鹿市医郷壇のお題は「灰汁粽（あつまつ）」です。端午の節句のお菓子で有名な郷土食ですが、若い世代の方々には馴染みが薄いかもしれませんね。投句にはかごんま弁だけでなく文化的経験も必要なのだと思いました。とは言え自信のない方もまずは一句からお気軽にご投稿を！

世界情勢ではロシアによるウクライナ侵攻や各地の紛争、国内でも観光船の事故や物価上昇など悲しいニュースが続きます。一方で日は長くなり、春の景色や風は疲れた心にも新しい希望と勇気を運んでくれるかのようです。サッカーJ3鹿児島ユナイテッドも好調で応援しがいがあります。先日「脳を鍛えるには運動しかない！」という本を興味深く読みました。頭と身体のバランスは大事ですね、皆さんもどうかご無事でお過ごしください。

(編集委員 關根さおり)